

# 数学科学習指導案（略案）

平成 28 年 11 月 18 日（金） 2 校時  
中学部 A グループ 男子 1 人 女子 1 人 計 2 人  
場 所 中 学 部 3 年 教 室  
指 導 者 山 下 茜（CT） 甫 立 将 章（ST）

## 1 題材 「くらべよう（おおきさ、ながさ、おもさ）」

## 2 本時の実際（9／17）

### (1) 全体目標

具体物に触れたり、直接比較したりすることで、具体物の長い短いを判断することができる。

### (2) 個人目標

生徒	個人目標
A (3年, 男)	二つの具体物を見たり、触ったりすることで、長さの違いに気付き、長い方を選ぶことができる。
B (3年, 女)	二または三つの具体物を直接比較することで、具体物の長い短いを判断し、「長い」、「短い」、「ちゅうくらい」のものを選ぶことができる。

### (3) 指導及び支援に当たって

前時までに生徒たちは、長さの異なる様々な具体物に触れたり、直接比較する活動を積み重ねてきたことで、長さの違いに気付いて長い方の具体物を選んだり、具体物の長い短いを判断して言葉で伝えたりする姿が見られるようになってきた。

そこで本時も、長さの異なる様々な具体物に触れたり、直接比較したりする活動を通して、長い短いを判断することができるようにしたい。具体的には、以下のような指導及び支援を行う。

#### <導入>

- ・ 枠の長さを判断してブロックをはめたり、ブロックを短い順に並べ替えたりすることで、お互いに長さを判断しながら階段を作ることができるようにする。基 思・判 表 関
- ・ 学習の様子の写真を示したプリントを配布することで、前時の学習を思い出し、本時の学習の課題を意識することができるようにする。

#### <展開>

- ・ 個別学習と二人での学習を設定することで、実態に応じて課題に取り組むだけでなく、お互いに学習をしたことを生かしながら学び合うことができるようにする。関
- ・ ホワイトボードに目印を付けておくことで、直接比較をする際に、目印に一端をぴったり付けることを意識することができるようにする。基 思・判 表
- ・ 具体物に触れたり、直接比較したりして長い短いを判断するだけでなく、実態に応じて、言葉に加えてシンボルマークを使用したり、サインで表現したりすることができるようにする。基 思・判 表
- ・ 長さを判断しながら、具体物を選んだり、並び替えたりする活動だけでなく、ビーズや粘土を使って長いものや短いものを作る活動を設定することで、作業学習等、他教科等の学習にもつなげることができるようにする。思・判 表
- ・ 長さを比べる際には、「長い」、「短い」の言葉と特定の具体物が結び付くことがないように、様々な具体物を入れ替えながら活動を設定することで、二または三つの具体物の関係性を意識することができるようにする。基 思・判
- ・ 二人での学習では、物語（大型絵本）を使って長さを判断する学習を設定する。個別学習で使用した教材・教具を使用することで、個別学習で学んだことを生かしながら、ストーリーに沿って長い短いを判断し、具体物を選ぶことができるようにする。登場人物の表情を変化させることで、正解、不正解を判断することができるようにする。基 思・判 表 関

#### <終末>

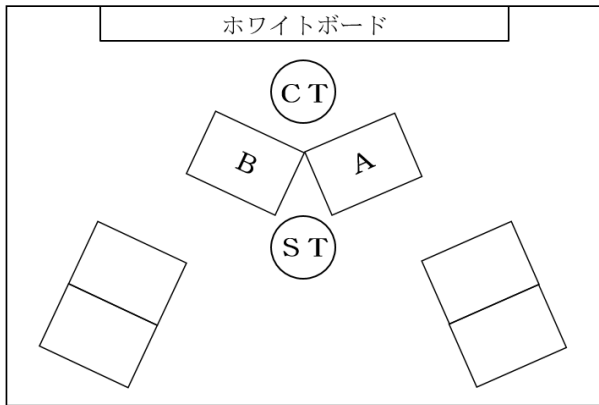
- ・ 完成した物語（大型絵本）を提示することで、本時で学んだことを振り返り、お互いの学習の成果を評価し合ったり、次時の課題を意識したりすることができるようにする。思・判

## (4) 実際

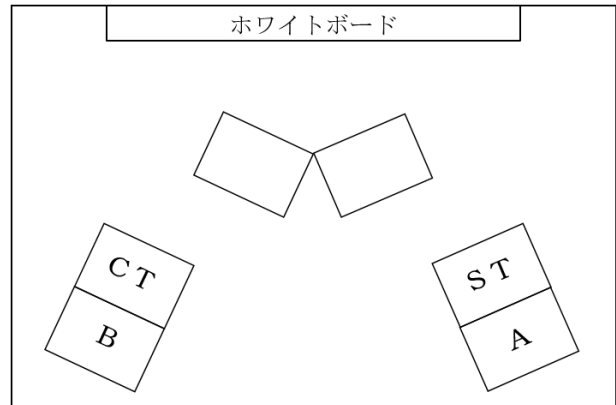
過程	主な学習活動	指導及び支援上の留意点	資料・準備
導入 (10分)	1 最初の挨拶をする。 2 長さの違うブロックで階段を作る。 (1) 枠の長さを判断して、ブロックをはめる。 (2) ブロックの長さを判断し、長い順に並べる。 3 前時の学習を振り返り、本時の学習を知る。 (1) プリントを見て、前時の学習を思い出す。 (2) 本時の学習を知る。 ながさをくらべよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で操作しながら長さを判断することができるように、枠やブロックを用意し、実態に応じて課題を設定する。</li> <li>学習の様子を写真で載せたプリントを提示することで、前時の学習を思い出すことができるようにする。</li> <li>めあてに加えて、個別学習で使用する教材・教具の写真等を提示することで、自分の課題や活動を意識することができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>枠</li> <li>ブロック</li> <li>プリント</li> <li>めあて</li> <li>写真カード</li> </ul>
展開 (35分)	4 個別学習を行う。 (A) (1) 長さの異なる二つの具体物を見たり、触ったりしながら、長さの違いに気付く。 (2) 長い方の具体物を選ぶ。 (3) 教師の言葉に合わせてサインで表現する。 (4) ビーズと糸を使って、教師が提示したものより長い飾りを作る。 (B) (1) 二つの具体物を直接比較する。 (2) 長さを判断して、「長い」または「短い」ものを選ぶ。 (3) 三つの具体物の長さを直接比較して、短い順や長い順に並べる。 (4) 「長い」、「短い」、「ちゅうくらい」のものを選ぶ。 (5) 箱の長さを判断して粘土を伸ばしたり、テープの長さを手掛かりにビーズを使っているいろいろな長さの飾りを作ったりする。 5 物語（大型絵本）のストーリーに合わせて、長い短いを判断して具体物を選ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CTはB、STはAと学習を行う。</li> <li>二人で学習する場所と、個別学習を行う場所を分けることで、自分の学習に集中して取り組むことができるようにする。</li> <li>作業学習や生活単元学習と関連のある具体物を使用することで、他教科等の学習とつなげることができるようにする。</li> <li>Aは、言語表出が難しいが、長い短いを判断した後に、教師が言葉で伝えるだけでなく、サインを使うことで「長い」、「短い」を表現することができるようにする。</li> <li>Bは、直接比較をする際に自分で端をそろえて長さを比べることができるように、基点となる場所に印を付ける。</li> <li>Bが三つの具体物を比較する際には、様々な具体物を入れ替えながら活動することで、三つの具体物の長さの関係を理解し、言葉で整理することができるようにする。</li> <li>登場人物の表情を変化させることで、比較する状況作りをしたり、正解または不正解か判断したりすることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホワイトボード</li> <li>シンボルカード</li> <li>ビーズ</li> <li>糸</li> <li>粘土</li> <li>かご</li> <li>長さの異なるブロックやテープ等</li> <li>大型絵本</li> </ul>
終末 (5分)	6 本時の学習を振り返る。 (1) 大型絵本を見て、教師と一緒に学習の成果や課題について考える。 (2) 学習を振り返り、自分の気持ちを伝える。 7 終わりの挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>完成した大型絵本を提示することで、本時の学習を振り返ることができるようにする。</li> <li>感情カードを使用することで、学習を終えた気持ちを友達や教師に伝えることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型絵本</li> <li>ホワイトボード</li> <li>感情カード</li> </ul>

(5) 場の設定

(導入, 展開後半, 終末)



(展開前半)



(6) 評価

ア 全体目標

具体物に触れたり, 直接比較したりすることで, 具体物の長い短いを判断することができたか。

イ 個人目標

生徒	個人目標
A (3年, 男)	二つの具体物を見たり, 触ったりすることで, 長さの違いに気付き, 長い方を選ぶことができたか。
B (3年, 女)	二または三つの具体物を直接比較することで, 具体物の長い短いを判断し, 「長い」, 「短い」, 「ちゅうくらい」のものを選ぶことができたか。

## 授業計画シート (ver.4)

学部	教科等名	学習集団 (グループ名等)	題材名	総時数 (実施時期)	題材の全体目標
小・ <b>中</b> ・高	数学	Aグループ	くらべよう (おおきさ, ながさ, おもさ)	17時間(10月~12月)	体感したり, 直接比較をしたりすることで, 具体物の大きい小さい, 長い短い, 重い軽いを判断することができる。

児童生徒名	個人目標	児童生徒名	個人目標
A	具体物を見たり, 触ったりすることで, 具体物の大きい小さい, 長い短い, 重い軽いを判断することができる。	B	具体物を見たり, 触ったりしながら, 二または三つのものを直接比較することで, 具体物の大きい小さい, 長い短い, 重い軽いを判断することができる。

指導計画				
指導内容<基礎・基本>	次	時数	学習活動	他教科等との関連
記入例:【書く:小-3】単語を組み合わせ, 主語と修飾語, 述語を整えて文を作る。(全員)			<b>&lt;思考力・判断力・表現力/人間関係/主体性 を育む視点&gt;</b> ※学習活動の後に該当する番号を記入する ①学習した知識や技能を主体的に使う / ②自分の考えを主体的に表現する / ③主体的に友達と協力・協働する	教科等/単元・題材/主な学習活動・内容
【量と測定:小-1】 枠の大きさに合わせて, ブロックをはめる。(A) 【量と測定:小-2】 ブロックを大きい順に並べる。(B)	一	5	1 大きさの違うブロックを並べて, 階段を作る。【①②③】  2 具体物に触れたり, 直接大きさを比べたりする。【①②】	作業学習「展示販売会に向けて製品を作ろう」 → 製品を大きさに合わせて分けたり, 順番に並べたりする。  生活単元学習「作って食べよう」 → 言葉やシンボル, サインを手掛かりに, 材料や調理器具の大きさを判断しながら調理をする。
【量と測定:小-1】 二つの具体物を見たり, 触ったりして, 大きさの違いに気付き, 大きい方を選んだり, サインで表現したりする。(A) 【量と測定:小-2】 二から三つの具体物を直接比較して大きい小さいを判断したり, 言葉やシンボルで表現したりする。(B)	二	4	1 長さの違うブロックを並べて, 階段を作る。【①②③】  2 具体物に触れたり, 直接長さを比べたりする。【①②】  3 物語 (大型絵本) に沿って, 長い短いを判断して具体物を選ぶ。【①②③】	作業学習「展示販売会に向けて製品を作ろう」 → 材料の長さを判断しながら, 製品を作る。 作業学習「秋・冬野菜を育てよう」 → 収穫した大根の長さを判断してかごに分ける。 音楽「日本の楽器に親しもう」 → シンボルや言葉を手掛かりに, 声や楽器の音を長く伸ばしたり, 短く切ったりする。
【量と測定:小-1】 枠の大きさや長さに合わせて, ブロックをはめる。(A) 【量と測定:小-2】 ブロックを大きい順や長い順に並べる。(B)	三	4	1 大きさや長さの違うブロックを並べて, 階段を作る。【①②③】  2 具体物を実際に持ったり, てんびんを使ったりして重さを比べる。【①②】  3 物語 (大型絵本) に沿って, 重い軽いを判断して具体物を選ぶ。【①②③】	
【量と測定:小-1】 枠の大きさや長さに合わせてブロックをはめたりする。(A) 【量と測定:小-2】 ブロックを大きい順や小さい順, 長い順, 短い順に並べる。(B)	四	4	1 大きさや長さの違うブロックを並べて, 階段を作る。【①②③】  2 具体物に触れたり, 直接大きさ, 長さ, 重さを比べたりする。【①②】  3 物語 (大型絵本) に沿って, 大きい小さい, 長い短い, 重い軽いを判断して具体物を選ぶ。【①②③】	

<年間指導計画との関連>	<実施時期や時数に関する評価>	ミーティング	授業研究会
○基にした年間指導計画 <記入例:小・国 (○段階)「単元・題材名」> 小・算 (1段階)「なかまあつめをしようⅡ (大小・長短・重軽)」 小・算 (2段階)「ながさくらべをしよう」 小・算 (3段階)「くらべてみよう, はかってみよう (長さ, 重さ)」	○実施時期 適 当 ・ 要検討 ( 頃 )	○必要と思われる時数 適 当 ・ 要検討 ( 時間程度必要 )	<例:○/(総時数)> <例:○/(総時数)>